

令和元年度 第4回SJAC講演会を開催

(一社)日本航空宇宙工業会は、12月11日(水)、富士通株式会社、株式会社日立製作所、日本電気株式会社、三菱電機株式会社から講師をお招きし、「ICT企業における研究事例と後方支援への活用可能性について」と題した講演会を工業会会議室にて開催した。

日本航空宇宙工業会では、2012年9月に航空機産業におけるプロダクトサポートの問題点・課題、その解決策について、調査・検討を行うプロダクトサポート研究会を立ち上げた。同じ年のJA2012国際航空宇宙展において「航空機部品情報共有システム」に関する調査結果を発表し、H25年以降実証実験を行う等の活動を継続して今日に至っている。

今年度は、会員メンバーからの要望を受けて、IoT技術の目覚ましい発展を背景とした周辺機器の検知、作業の自動化や、AIを活用した分析・判断等に関する研究状況を国内ICT企業に講演頂けるよう活動を進めてきた。この結果、上記4社から講演頂けることとなり、会員企業並びに防衛省航空自衛隊から60名を超える参加者を迎えることができた。各講演後には熱心な質疑が交わされたため、今後ユーザーの立場から技術適用に向けた相談が寄せられることも期待される。

講演について、同様の内容が並ぶ可能性があったことから、準備段階でICT企業の皆さんにはSJACに集まって頂き、概要紹介に基づく擦り合わせをお願いした。お互いにライバルとなる分野もあるので、どこまでの内容をお話し頂けるのか心配もあったが、リハーサルを経て同業者の悩みに共感を示されたり、工業会活動への理解を深めて頂けたりといった場面も見られ、ICTに限らず他分野でのオープンイノベーションにも有効な活動であると感じた。

講演会の中では、スマートフォンを使って講演中から質問を共有できるシステムを、SJAC講演会として初めて採用した。他の参加者の質問を見て「同意」の投票ができることから、講演終了と同時に興味を集めた質問から順番に回答することが可能となった。この結果、効率的に質疑応答が進み、講演会全体の時間を有効に使うことができた。



質問表示画面と著者

講演会の演題と講演者は以下の通り。

(1) 「AI翻訳×要約による海外情報の活用」

富士通(株)特機システム事業本部

ICTシステム事業部

細田 幹雄 氏



(2) 「米国セキュリティに対応したNISTクラウドサービス」

富士通(株)特機システム事業本部

デジタルビジネス推進室

遠山 明利 氏



(3) 「ブロックチェーンを活用した
サプライチェーントレーサビリティ管理技術」

(株)日立製作所 研究開発グループ

デジタルテクノロジーイノベーションセンタ

サービスコンピューティング研究部 永井 崇之 氏



(4) 「三菱電機のAI技術Maisartの特徴と活用事例」

三菱電機(株) 情報技術総合研究所

知能情報処理技術部長

田崎 裕久 氏



(5) 「時系列データ分析AIによる異常予兆検知、
障害診断、故障予測」

日本電気(株) セキュリティ研究所

プリンシパルクリエイター

網代 育大 氏



〔(一社) 日本航空宇宙工業会 調査部長 平上 雄一〕